

2月22日(木)



指定緊急避難場所案内板の寄贈を受けました
《市長応接室》

地方創生に関するパートナーシップ協定を締結している、あいおいニッセイ同和損害保険(株)より、防災に関する連携として指定緊急避難場所の案内板 50 枚が寄贈されました。豊岡市長は「災害混乱時に避難所がわかる案内板は大変便利」と謝辞を述べました。

2月16日(金)



息の合ったダンスに歓声が上がりました
《南小学校》

南小学校の6年3組の25人が、前ぶれなく突然ダンスを踊るフラッシュモブを披露し、授業参観で来校していた保護者たちを驚かせました。昼休みに突然音楽が流れ出し、ボールや遊具で遊んでいた下級生たちも続々と集まり手拍子で盛り上がっていました。

2月26日(月)



日本大学国際関係学部生による研究報告
《市長応接室》

日本大学国際関係学部・^{たけぬまともゆき} 藤沼智行ゼミ生による「三島の水を商品化する」研究報告が行われました。

パッケージのデザインやシティプロモーションとの関連性について提案があり、その研究成果とニーズをすり合わせ、平成30年度中の商品化を目指します。

市公式 Facebook ページでお届けしている記事から、話題のものを掲載しています。



2月24日(土)



タグラグビーをプレーして英語を学ぶ
《県総合健康センター体育館》

ネイティブ講師による『「英語で、」タグラグビー教室』が開催され、ニュージーランド出身のアマチュアラグビー選手がゲスト参加しました。ルール説明、基礎練習の後、ミニゲームを行い、身振り手振りを交え、真剣に互いのタグを目掛けて走り回りました。

3月3日(土)



ICTをもっと身近に
 《生涯学習センター》

オープンデータを作り、使い、考えるイベントを世界中で同日開催しようという取り組みの一貫として「みしま ICTまつり」を開催しました。基調講演、事例紹介、子ども向けプログラミング講座など実践的な催しを行いました。

2月28日(水)



皆さんの応援がパックを止める力になりました
 《市役所玄関ホール》

平昌パラリンピックの「アイスホッケー」日本代表の望月和哉選手（三島市役所勤務）の壮行会を開催。あつまった職員が「フレー、フレー望月」とエールを送り、健闘を祈りました。望月選手はアメリカ戦などに出場し、好セーブを連発する大活躍でした。

3月9日(金)



地震の揺れに備えた真剣な訓練
 《松本幼稚園》

災害から身を守るための「シェイクアウト訓練」が行われ、三島市では1万8,000人が参加しました。松本幼稚園では、地震の揺れを感じたら、「まず低く、頭を守り、動かない」ことを確認し、一斉に机の下に潜り、床に伏せるなど、真剣に取り組んでいました。

3月4日(日)



昼夜を問わず市民の生活を守っています
 《市役所玄関前駐車場》

地域の安心・安全のため、火災への注意喚起を目的とする防火パレードが行われ、消防団員約110人が参加しました。三島市長、消防団長の敬礼に応えた後、消防車両に乗り込み、甲高い警鐘を鳴らし各分担地域で啓発活動を行いました。

